

東京都足立区立千寿青葉中学校  
第1学年出張授業講義資料

# 「私たちはなぜ働くのか」を考える

2019年7月3日(水)

11:40~12:30

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 1 : 林さんの好きなことばを、自己紹介代わりにお話しください。

- A : (1)「練習で泣いて、試合で笑え」  
(2)「ブルドッグ魂 (食いついたら離すな)」  
(3)「スポーツの3つの宝」  
①「練習は不可能を可能にする」  
②「フェアプレイ」(いやしいプレイはしない)  
③「よき友」



Q 2 : ズバリ、人はなぜ働くのだとお考えですか。林さんの考えをお聞かせください。

- A : (1)人が働いた結果何をするのかといえば、製品(もの)やサービスを提供するといえます。  
(2)すべての製品(もの)やサービスには、それを利用するお客様がいます。  
(3)人は何のために働くかを考えるときには、人が働いた結果作り出す製品(もの)やサービスは、それを使うお客様にとって、どのような意味があるかを考えることが大事です。



Q 3 : お客様にとって、製品(もの)やサービスはどのような意味があると林さんは考えますか。

- A : (1)お客様が困っていること・問題を解決するのが、製品(もの)やサービスではないかと考えます。  
(2)働くとは、製品(もの)やサービスを提供することでお客様の困っていること・問題を解決することで、お客様のお役に立つことだと考えます。  
(3)同じような問題が一人では解決できず困っている人が、世の中にはたくさんいます。そこで、働くことで製品(もの)やサービスを提供することは、世の中のお役に立つことだと考えます。  
(4)まとめていうと、働くとは、製品(もの)やサービスを提供することで、お客様や世の中のお役に立つことだと考えます。



Q 4 : お客様の困っていること・問題の解決になる製品(もの)やサービスは、どのように考えたり、作ったりすればよいのですか。

- A : (1)お客様の問題解決になるような、本当に必要な製品(もの)やサービスとは何かを考えて、それを「製品(もの)」や「サービス」とすることが第1。(Product プロダクト)  
(2)お客様の買いやすい「価格」で提供することが第2。(Price プライス)  
(3)お客様が求めやすい「場所」で提供することが第3。(Place プレイス)  
(4)お客様にその製品(もの)やサービスを知って頂くこと、「広告・宣伝」が第4。(Promotion プロモーション)

Q 5 : 働くうえで、大変なことは何ですか。

A : (1)世の中が急激なスピードで動いており、お客様が本当に必要な製品(もの)やサービスも変化し続けることです。

(2)競争相手が近所だけでなく、日本国内や海外にもいることです。

(3)全く違った製品(もの)やサービスが突然登場することもあります。

(4)AI(人工知能)やIoT(もののインターネット)、5G などにも対応しなければなりません。



Q 6 : 製品(もの)やサービスの提供は、一人ではふつうできません。どうしたらよいのですか。

A : (1)チーム・グループでやる以外ないと考えます。

(2)チーム・グループには「リーダー」が必要です。また、リーダーといっしょに「働く人々」も必要です。

(3)そのチームをどこに向かって走らせるかを考えるのが「リーダー」の仕事。何をどのように作り、提供するかをリーダーとともに考え、実行するのがそこで働く人々の仕事といえます。

(4)一つの会社や組織だけでは、製品(もの)やサービスの提供はできないことが多いです。そこで、日本国内や海外の他の会社や組織との協力も大切です。これを「分業(ぶんぎょう)」といいます。

(5)「分業」は会社の中でも行われます。「チームプレイ」が大切です。

\*「チームプレイ」とは、自分の担当した仕事は、他の人を頼らず責任をもって行うことです。



Q 7 : 人はなぜ働くとお考えですか。

A : (1)「生活できるだけの収入を得るため」が第1。

(2)「製品(もの)やサービスをお客様に提供することで、お客様や世の中のお役に立つため」が第2。

(3)「働くこと」で「自己実現をするため」が第3。

こう私は考えます。

\*「働くことは学ぶこと」。「学び続けること」で、よりよい仕事ができます。「学んだことを人に伝えること」、「人を育てること」もできます。



Q 8 : 中学校や高校で学ぶことは、社会に出て働くときに役に立ちますか、社会的活動をするときに役に立ちますか。一人の一生に役に立ちますか。

A : (1) 中学校や高校のすべての教科の内容は、社会ですべて役に立ちます。役に立たないことは一つもありません。

(2) 中学校や高校の教科以外の活動も、すべて、働くときや社会的活動をするときに役に立ちます。役に立たないことは一つもありません。

(3) このように、中学校や高校での勉強は、すべて役に立ちます。一生役に立ちます。役に立たないことは一つもありません。ですから、学校生活を毎日充実させてください。



Q 9 : 中学時代に身に着けたほうがよいことは何ですか。

A : (1) 勉強の仕方、テストの受け方

① 社会に出てからが、本当の勉強です。テストもたくさんあります。

② 一人で行う勉強の仕方やテスト対策の仕方を、身に付けてください。

③ ノート(メモ)の取り方も、身に付けてください。

\* 「仕事はメモで身に着ける」といわれます。

(2) 「読解力」一文字や情報を「読み取る力」一

① 「辞書」の活用…意味のわからないことばは、気持ちが悪いと考え、辞書で調べて、その意味を覚える。

\* 「ことばは力」「知っていることばの数は力」です。

② 「新聞」を毎日読み、世の中の動きを知る。

\* 「新聞」を読み、「自分で考える力」「批判的思考能力」を身に着ける。

③ 「読書」を毎日行い、「思慮深さ(しりよぶかさ)」を身に着ける。

(3) 「5S(ごエス)」

① 「整理 (seiri)」… いらぬものは捨てる

② 「清掃 (seisou)」… きれいに掃除(そうじ)をする

③ 「整頓 (seiton)」… ものと同じ場所に置く

④ 「清潔 (seiketsu)」… ①～③を継続する

⑤ 「躰 (shitsuke)」… 自分から進んで行く

\* 別の意味の「躰(しつけ)」も身に着ける

① 美しい立居振舞い(たちいふるまい)

② 美しい言葉遣い(ことばづかい)

\* 敬語表現を含む美しい言葉遣い

③ 元気な挨拶(あいさつ)



Q10：最後に一言どうぞ。

A：(1) よいところをたくさん探し、どんどん伸ばそう。

①家族・友人・近所・学校・北千住・足立区・東京・日本・アジア・地球のよさは何かを  
たくさん探そう。

②そして、自分自身のよいところを探して、どんどん伸ばそう。

③「会った人は、皆、友達」

(2) 「一生勉強、一生青春」

(3) ただし、「健康第一」です。「身体健康」、「心の健康」を大切に。

御清聴ありがとうございました。

何でも質問してください。

感謝

